危険な通学路に信号機設置実現！

初質問から2年半

植田和子市議

2011年6月議会で行った初質問。当時小学1年生を持つ母親から相談を受け、「頻繁に事故がある交差点（富士見台と江戸川台西4丁目）に信号機の設置」と「設置までの対策」を要望しました。一週間後には『飛び出し注意』『スピード落とせ』の巻き看板が付き、カラー舗装の延長、路面標示の書き直しなどの措置がされるスピードぶりでしたが、この12月にようやく信号機が設置され、始動しました。

植田和子議員は「2年半の時間はかかりましたが、市民の願いがまたひとつ実現しました。安全・安心な通学路が実現して良かった。これからも市民の声を議会に届けます。」と力強く語りました。

信号機がついた交差点で植田市議

国が違えばトイレ事情も

ほほえみの国、タイ。暑い国、タイ。しかし、11月～2月の乾季は過ごしやすいと言う。12月初旬、そんなタイ（バンコク）に、行く機会を得た。バンコクの空港は、24時間営業のハブ空港で、成田の倍以上（？）もありそうな大きさに驚いた。そして、バンコク市内は近代的な高層ビルが立ち並び、たくさんの行きかう車は、ほとんどが日本車。「ここは東京？」と勘違いしそうな雰囲気だった。タイで利用されている車の85％は日本車だと言う。タイは日本の自動車産業にとって大の「お得意様」なのだと感じた。

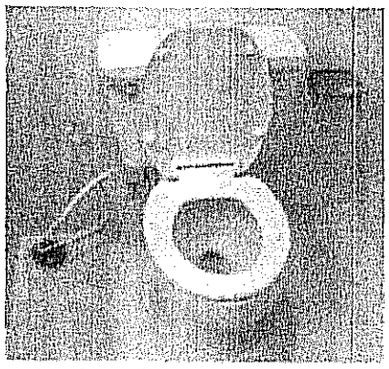
乾季と言えども、蒸し暑いのでは？の思いに反して、湿気もなく、日中の日差しは暑いものの日陰に入ると、風が爽やかで涼しく本当に過ごしやすい。道路の両端の歩道には、屋台が並び「おそば」「あげもの」「フルーツ」「お菓子」などが所狭しと売られ食欲をそそられる。東南アジアを初めて訪れた者にとっては、何もかもが珍しく、好奇心を掻き立てられた。その中で、面白いと感じたのは「トイレ」。ホテルやデパートでは、日本と同じような水洗式だが、ウオッシュレットはなく小さなシャワーが便器の横にあり、それで洗浄する。慣れないとうまく洗えない。

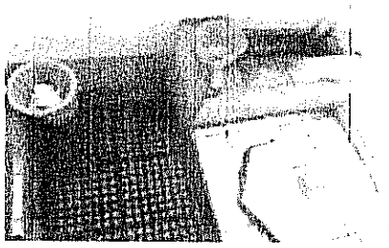
又、ガソリンスタンドや観光地では、日本の和式スタイルのようなトイレが主で、日本とは、逆で穴をうしろにして跨いで座る。便器の側に水槽があり、手桶に水を汲んで手でお尻を洗い、便器も洗うそうだ。基本的に「紙は使わない」との事。しかし、最近は紙を使用し、使用後の紙は、便器に流さず　備えつきの容器に捨てる。（紙を捨てると配管が細いため詰まってしまうらしい）

帰路の飛行機は、たくさんの思い出を乗せて羽田に到着。タイの気温28℃。東京8℃。機外に出ると思わず身を震わせる寒さに襲われ、急ぎトイレに入り「冬支度」を。入ったトイレは〝完全装備〟のきれいなトイレ！着替え用の折り畳みボード（台）まで備え付けられていた。そして、ウオーム便座に、ウオッシュレット、水が流れる音にドライ機能まで！！　日本のトイレのすばらしさに感嘆するものの「ここまで必要？」との思いも。

日本では、「これが当たり前」と思っていることでも、違う国の文化や風習に触れることでまた新たな思いや考えを持つ事ができ、実のある旅行になった

Y・T





上：ホテルなどのトイレ
下：観光地などのトイレ

2014年

新春のつどい

日時：2014年1月24日（金）午後2時開会
会場：流山市生涯学習センター1階ホール
主催：日本共産党流山市後援会
日本共産党市委員会

２０１４年１月に日本共産党の第26回大会が行われます。党の示す展望や市民のたたかいなど、日本共産党を知る絶好の機会です。４人の市議それぞれのブロックからの文化的（？）取り組みもあります。皆様お誘い合わせの上お越し下さい。「秘密保護法廃棄する力を　元気を　持ち帰る」みなさんの力を集めましょう。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

今「赤旗」が真実を伝えています。この機会に読んでみませんか。

働く者の権利を守る政党！

「共産党の論戦は否定しようがない事実をもとに徹底して追及してくるので怖い」と与党理事の言葉です。

先日、江戸川台駅東口で宣伝中、二人の女性から「共産党は国会でブラック企業の事を熱心にやっていますよね、聞きたいことがあるので」と、そんな相談を受けました。

7月の参議院選で11人に躍進して議案提案権を獲得した日本共産党は今大きな社会問題となっているブラック企業に対する規制法を提案するなかで、離職率（大学生・院生採用者）を来年度から公表することを約束させました。

一方、安倍政権は目玉の一つとして国家戦略特区法を提出。「雇用特区」として解雇自由化や有期雇用の延長、残業代ゼロ制度の導入などを盛り込んだのです。民主（本会議は棄権）、維新、みんなは賛成し「翼賛」ぶりを際立たせました。働く者の権利を守る政党はどこか――。答えは明瞭です。

東深井　K

オーじいコレクション！

昭和12月8日の宣戦布告を伝える読売新聞。秘密保護法に目・口・耳ふさがれ「いつか来た道とならない」新聞が果たした役割も責任重大。

読売新聞
米英撃滅に対して宣戦布告
畏し大詔渙発
昭和16年12月９日の読売新聞

あすなろ川柳

●秘密法
陰で悪法
目白押し
企業には規制緩和、非正規労働拡大。高校無償後退……特急で通過

●TPP
凍結のままで
居てほしい
米国ごり押しで年内妥結せず。そのままでいいよ。

●新党の
季節　助成の
金目当て
年初に届けないと助成金がもらえない……と